



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のことば 「技術立国日本の回復」 **理事 長本啓社**

昨年トヨタが発表した燃料電池自動車(FCV)「MIRAI」が12月15日の予約受付開始以来既に1ヶ月で約1,500台の予約が取れたとのニュースが発表されました。トヨタの生産計画をみると「MIRAI」は年間700台とのことなのでその計画が変わらなければ契約が遅かったユーザーは納車が2年後になるにも関わらず・・・です。

近年の環境優先の考えからすれば脱炭素系燃料は当然の帰結ですから水素を燃料とするFCVや電気自動車(EV)が自動車の本流となることは自明の理です。燃料系において電子システムはますます進化し、運転系に関しても自動運転、衝突防止システムが通常装備になることは間違いありません。これらを考えた場合、日本の技術が再認識されることは間違いのないことでしょう。日本の技術は優秀だけれどもそれを売る手法が下手だと言われています。この事実を反省して改めて技術・販売手法を一体化したサービス体制を構築すれば近年言われ続けて来た“技術立国日本の衰退”は過去のものとなり、再び日本技術の優位性が回復出来るのではないのでしょうか。

1 月度 (第139回) 理事会報告 (1月21日)	
1. 平成27年度理事検討会開催の件→審議・承認	6. 平成26年度収入成行表→報告了承
2. コミュニケーション研究会、第6次テーマ成果論文のHP掲載の件→審議・承認	7. 平成26年度第3四半期事務局経費推移報告→報告了承
3. 平成27年2月度会員意見交換会開催の件→審議・承認	8. 平成26年源泉徴収法定調書合計表提出報告の件→報告了承
4. SEF源泉徴収ポリシーについて→審議・承認	9. 平成26年12月度会計報告→報告了承
5. 内山洋二郎準会員退会の件→報告了承	10. 平成26年6月定款変更に対する認定書発行の件→報告了承

事業報告 : 「業務支援事業部会成行」 **担当役員 黒山専務理事**

業務支援事業部会は本年度より3グループ制に移行して従来以上に柔軟な活動が取れる様になり、合わせて昨年度からスタートした事業開発活動も徐々に地につけてきました。

その成果として本年度は前年度からの継続テーマに、スポットも含む新規4テーマが加わり前年度を上回る活動内容となり、概ね本年度の当初計画は達成の見込みです。

一方で今後の社会構造の変化、事業環境の変化、会員構成の変化等も常に配慮しながらSEF事業の継続性、維持を心がける事が肝要と考えています。

会員の皆さんの熱意と行動を期待しています。

SEFサロン 第85回 報告/第86回案内 **担当理事 白崎 善宏**

《 第86回報告 》講師: 迫 秀一郎氏 オリックス不動産株式会社 運営事業本部顧問
 演題: 「戦後のホテルの成長推移と開発及び運営経験の中でのエピソード」(1月21日実施)

長い間、国内外でホテルの開発、運営に携われた迫氏から、ホテル事業に取り組んできた歴史を通して「ホテル開発の難しさ」「外資系ホテルの日本国内進出」「最近の観光立国宣言とインバウンド(海外からの顧客)の状況」等のお話を頂きました。ご自身の体験を踏まえたコンプレイン処理等での裏話は迫真に迫るものがありました。迫氏が関係されてきた日本シンガポール協会関係者の出席者も多く、ご講演後も和やかな会話が閉会まで続きました。

《 第87回案内 》 日時: 2015年3月24日(火)18時 場所: 青学会館内アイビーホール 1F「フェリア」
 (通常水曜日開催でしたが、今回に限り火曜日の開催です)
 講師: 大澤文護氏 千葉科学大学教授 元毎日新聞ソウル支局長
 演題: 「未定一日韓関係の予定」

1 月度会員動向	
会員入退会 準会員退会 1名 (内山洋二郎氏)	2月1日現在の会員数 正会員-28名 準会員-33名、賛助会員-3社